

フィールドチェッカー FC-3 かんたんガイド

【1.0.1】

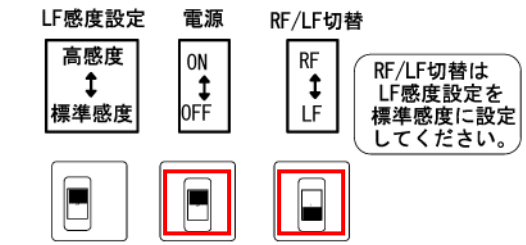
本書の内容は、製品の仕様も含め改良のため予告なく変更することがあります。本書に掲載されている内容は、2017年3月のものです。



LF 強度を確認する場合

1. 電源を ON にして LF モードにする

電源スイッチを **ON** にし、RF/LF 切替スイッチを **LF** にします。



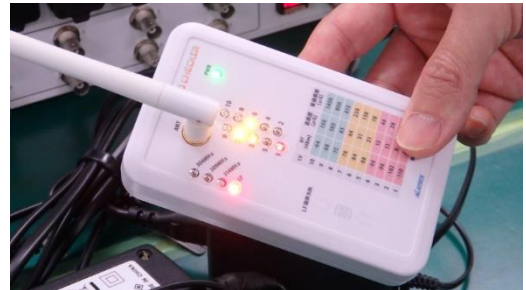
正常な磁界強度の目安

タグの種類	
標準感度タグ (Tag12、Tag16、Tag23)	350 μG ~
高感度タグ (Tag18、Tag21-M、Tag22、Tag27、Tag28)	8 ~ 15 μG
最大感度タグ (Tag21-L)	3 ~ 8 μG

※ノイズの大きさや個体差によって違いがあります

磁界ノイズの調査

磁界に影響を及ぼす環境ノイズを確認することができます。現地調査の際、ノイズ調査にお役立てください。

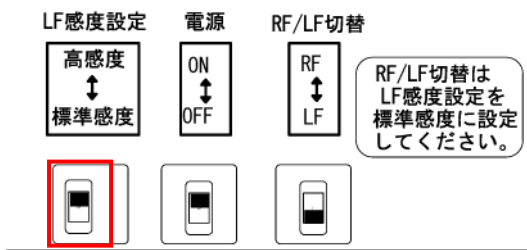


AC アダプタから出ているノイズを確認

2. LF 受信感度を設定する

使用するタグの感度に合わせて、LF 感度設定スイッチを切り替えます。

- 高感度：Tag28、Tag27、Tag22、Tag21、Tag18 など
- 標準感度：Tag23、Tag16、Tag12 など



レベルの説明【 μG 】

40 μG ~	ノイズが強いため、タグの LF 磁界を検知する距離が著しく低下する恐れがあります。ノイズ源を除くか、レベルが十分に下がる所まで設置場所を移動してください。
4 ~ 40 μG	ノイズの影響により、検知距離が短くなりますので、可能な限りレベルが下がる所まで設置場所を移動してください。
~ 4 μG	ノイズの影響はほとんどありません。

3. LF 磁界強度を確認する

LF 軸方向を磁界方向に合わせて確認します。以下のような場所で LF 磁界を確認することができます。

- 発信しているトリガーコイルの近く
- トリガー磁界の妨害になるような（周波数の近い）LF 磁界ノイズを発信している機器の近く



LF アンテナには指向性があるため、フィールドチェッカー本体を色々な方向に向けて確認してください。

RF 強度を確認する場合

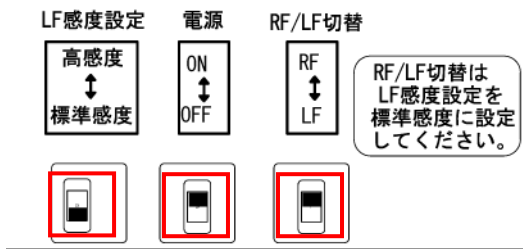
1. アンテナを接続する

アンテナ接続コネクタに付属の受信アンテナを接続します。



2. 電源を ON にしてモードを設定する

電源切換スイッチを **ON** にし、RF/LF 切換えスイッチを **RF** にします。
RF 切替時は、LF 感度設定を標準感度に設定してご使用ください。



レベルの説明【dBm】

-78 ~	受信アンテナの位置、偏波面を変更するか、ノイズ源を特定して対策を行うことで、ノイズレベルを下げる必要があります。 特小のタグを使用すれば使用可能となる場合があります。
-98 ~ -78	タグの受信は十分可能ですが、妨害電波の影響により、受信距離が短くなったり、受信漏れを起こす可能性があります。 ノイズが連続的でなければ、ほとんど問題ありません。
~ -98	タグの受信を妨げる強度のノイズはありません。

3. RF 強度を確認する

実際に LF 磁界の中で RF 強度を確認します。以下のような場所で RF 強度を確認することができます。

- 発信しているタグの近く
- タグの妨害になるような（周波数の近い）電波を発信している機器の近く



正常な受信レベルの目安

安定して受信するための目安

環境ノイズより約 10dB 以上の強さであること。
※環境ノイズが Level 5 の場合、Level 7 ぐらいが目安